

初めての方向のためのインベントリ管理ガイド

デバイスや技術的な問題について把握するための手段をユーザに提供することは、ソフトウェア会社にとって大きな課題となっています。その場しのぎのインベントリ管理ソリューションでは、もはや成功は望めません。

従業員が好きなデバイスを選択できる制度や私用デバイスを業務に使用できる制度を採用する組織が増えるなか、組織はオフィスのデスクに置かれたデバイスだけでなく、リモートワークやハイブリッドワークを行う従業員のMac、iPhone、iPadなど、複数のロケーションに散らばったデバイスをすべて管理しなければなりません。デバイスの種類や従業員のロケーションが増えるにつれ、新たな障害やニーズが発生しているのです。

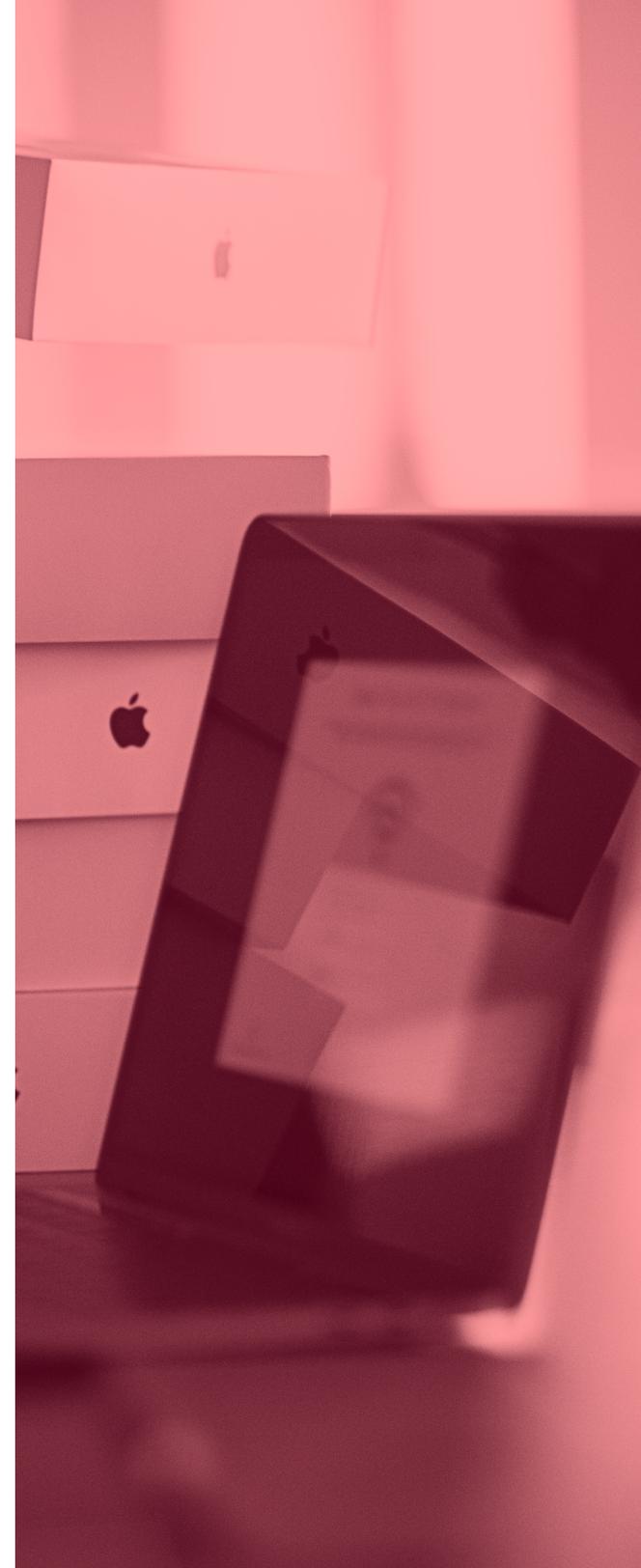
Jamfを活用することで、これらの質問の答えが明らかになり、環境のフリート全般の状態を簡単に把握することができるようになります。

このeBookでは、インベントリ管理レポート機能、IT資産管理 (ITAM) およびITサービス管理 (ITSM) システムの統合、さらに自動化によってAppleフリートの管理方法がどのように変わるかについてご紹介します。

トップクラスのApple製品管理ソリューションは、Appleデバイスから大量のインベントリデータを収集することができるため、最新のデバイス情報をもとに組織やフリートにとってより良い意思決定ができるようになります。

組織が把握すべきこと

- 組織所有のデバイスの台数とロケーション
- ソフトウェアのアップデート状況
- デバイ스에搭載されているアプリとアクセスを許可されたユーザ
- フリート全体の健全性とセキュリティ



インベントリデータとレポート



Jamfが作成するインベントリレポートで組織のAppleデバイスの状態を把握することは、エンドユーザーエクスペリエンスへの影響を抑えながらITチームのインベントリ管理プロセスを向上させることにつながります。インベントリ管理の堅牢なソリューションがあれば、あらゆるカテゴリのインベントリレポートを作成し、それを即座に可視化するためのダッシュボードを作成することも可能です。これは、組織が保有するMac、iPhone、iPadのコンプライアンス管理や、ビジネスの意思決定に役立てることができます。



収集されるデータの種類

ユーザ、ハードウェア、ソフトウェア、セキュリティデータなどを自動的に収集したり、拡張属性を使ってスクリプトの出力やサードパーティアプリのステータスといったインベントリの仕様をカスタマイズすることができます。これらは、モバイルデバイス管理 (MDM) とインベントリ管理機能を使用して収集できるデータのほんの一例です。





インベントリデータとレポート

ハードウェアデータ

- デバイスタ입
- デバイスモデル
- デバイス名
- シリアル番号
- Unique Device Identifier (UDID)
- バッテリー残量

管理データ

- 管理ステータス
- 監視ステータス
- IPアドレス
- 登録方法

セキュリティデータ

- 暗号化ステータス
- システム構成
- ソフトウェア制限
- 不正改ざん検出

ソフトウェアデータ

- OSバージョン
- インストール済みのアプリ
- ストレージ容量
- 空き容量

追加データ

- インストール済みのプロファイル
- インストール済みの証明書
- アクティベーションロックのステータス
- 購入情報
- インベントリの最終更新日時

より多くのパートナーやソリューションが市場に投入され、Jamfのソリューションと統合されるにつれて、収集または報告されるデータや、管理の自動化に活用できる豊富なデータが増え、「できること」が少しずつ増えつつあります。

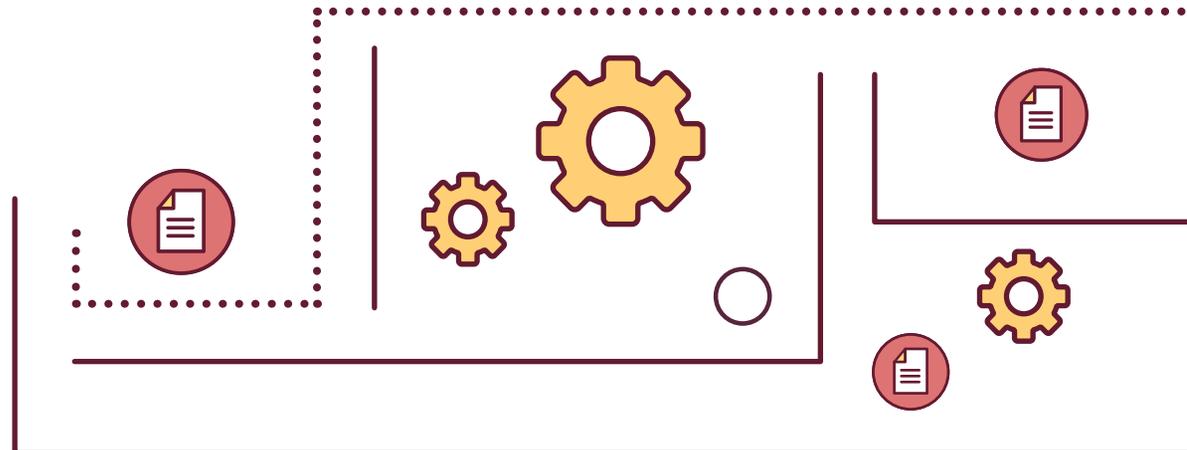
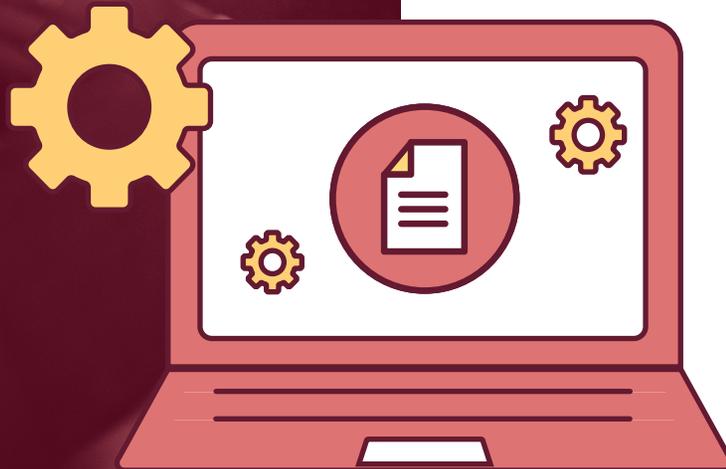
自動化された 管理

Jamfが提供している自動管理能力(スマートターゲティング)を活用すると、常に最新かつ継続的で、管理者が扱いやすいインベントリ管理が実現します。

これを可能にする2つの重要な自動化機能

スタティックグループは、オフィススイートやチームのようなデバイスの集合体を指します。一度定義すれば、そのグループのすべてのユーザやデバイスに一度にポリシーを適用することができ、時間と労力を節約することができます。

特許取得済みのスマートグループは、インベントリデータに基づいて常に変化する動的なもので、デバイスをグループ化し、構成プロファイルや制限を該当するデバイスに自動的に導入することができます。スマートグループは、デバイスがJamfインスタンスにチェックインするたびにアップデートされるため、常に最新の状態に保たれます。



自動化された 管理



スタティックグループ

プロフィールまたは
ポリシーを適用



スマートグループ

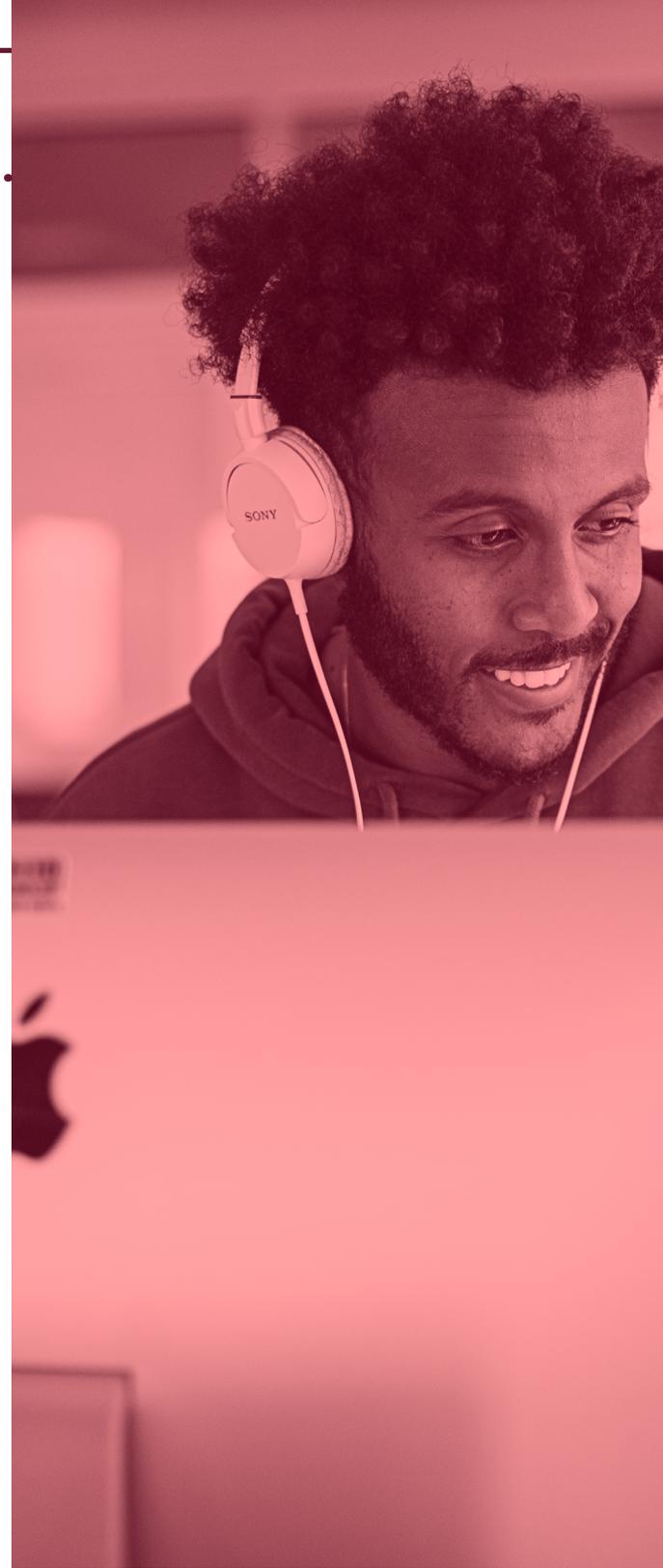


8GBのRAMを搭載し、ハードディスクに80%以上
空きがあり、バージョン10.12.2以降が搭載された
すべてのMacを検索



プロフィールまたは
ポリシーを適用

グループメンバーシップは、自動化された管理アクションのポリシーの有効化や、レポート作成のための収集、デバイスがグループに追加または削除された際のアラート送信などを行うことができます。これにより、バッテリーの状態やディスクの使用状態などに関する問題を未然に解決し、ヘルプデスクへの問合せ件数を減らすのに役立ちます。

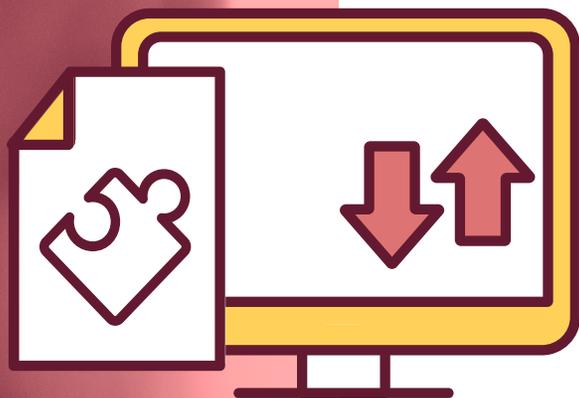


インベントリ 管理の統合

多くの組織では、すでにITAMやITSMのツールを導入しています。幸いにもJamfは業界をリードする多くのツールと統合し、組織のシステムの力を最大限に引き出すためのサポートエコシステムを構築しています。

ITAMツールは、どのハードウェアまたはソフトウェアがエンドユーザーに割り当てられているかを追跡します。このツールとJamfとの統合により、ユーザとデバイスに関する情報が一箇所に表示されるようになります。

一方ITSMツールは、問題やプロセスに関する包括的な情報をサービスプロバイダに提供するとともに、問い合わせに迅速かつ効率的に対応する能力をITに提供します。ITSMシステムの中には、Jamfと統合して、シリアル番号、バッテリーの状態、MDMのログなどのデバイス情報を表示できるものもあります。また、ヘルプデスクの担当者がボタンを押すだけで、完全なアクセスやアカウントがなくてもJamfのMDMソリューションのアクションを実行することができる場合もあります。



Jamf Marketplace

Jamf Marketplaceは、ITAMやITSMツールを含め、Jamfと統合したツールがすべて揃う場所です。

Jamfソリューションやインベントリ管理のパワーを最大限に引き出してくれる統合ツールに興味のある方は、ぜひ[Jamf Marketplace](#)にアクセスしてみてください。

インベントリの管理 を始めましょう



Jamf Pro、Jamf Now、Jamf School
のいずれを使っている場合でも、Jamf
を活用したインベントリ管理は他のど
の方法より遥かに優れています。

このようなインベントリ管理を体験して
みたい方はぜひ、エンタープライズにお
けるApple製品管理のスタンダードで
あるJamfの無料トライアルにお申し込
みください。

無料トライアル実施中 またはお
近くのApple製品販売代理店ま
でお問い合わせください。

